三鷹市立南浦小学校　令和8年度 【外国語】 授業改善推進プラン

	前年度授業改善推進プランの検証	学習状況の現状と課題	指導方法の課題と授業改善策
第1学年			
第2学年			
第3学年		○学んだ表現を使って積極的に英語を話そうとする児童が増えてきている。 ○英単語の習得がまだ進んでおらず、英語を聞いたり話したりすることに不安そうな児童がいる。	○引き続き充実した言語活動を中心とした授業を行っていく。 ○授業の帯活動として既習事項を繰り返し復習していくことで、時間をかけて様々な英単語や表現に慣れ親しんでいく。
第4学年	○授業の導入で、単元のゴールやゴールを達成するためにどのような活動をするのかを示し、見通しをもって学習に取り組めるようにした。 ○歌やチャンツは、ただリズムで歌うのではなく、言葉一つ一つの意味を指導することで、英文になったときにも英語を話すことができるようにした。 ○積極的に英語を話そうとする意欲を大切にし、手本や教師とのアクティビティでボランティアをしてもらい、活躍する場面を多くつくった。	○意欲的に外国語を聞いたり、話したりしている。難しい言葉にも挑戦できている。 ○歌やチャンツで音声に慣れ親しんでいる。	○うまく聞き取れなかったときには、繰り返し聞いたり、ゆっくり聞いたりできるようにする。また、児童同士のやり取りの機会を何度も設けることで、外国語を話すことの楽しさに気付けるようにする。 ○リスニング教材やＡＬＴを活用して正しい音声をたくさん聞けるようにする。
第5学年	○児童が安心して発話したり、発表したりすることができるように、新出表現に慣れ親しむ時間を多く設定した。 ○これまでの学習を確かめながら取り組むことができるよう、ペアからグループへと段階を踏んで練習に取り組ませることで自信をもって発表できるようにした。 ○本時のめあてと単元のゴールを明確にすること、さらに毎時間ふりかえりの時間を取ることで、めあての達成度や自分の成長を確かめられるようにした。	○日々の生活や出来事を積極的に英語で言おうとする児童が多い。 ○注意して音声を聞こうと心掛けている。またリスニングで聞いた内容を日本語で簡単に説明しようとするなどの積極的な姿が見られる。	○児童同士のコミュニケーションを取りやすくするために、英語での聞き方・答え方をALTと教師で提示する。 ○聞き取れなかった単語や児童が疑問に感じた単語などを繰り返し聞く機会をつくる。また黒板に書きだすことで、英語に慣れ親しむ機会を増やす。
第6学年	○教科書にあるsongsやchants、外部の教材等を活用し、後で聞き直せるようにデータの共有を行った。分からないところを何度も聞き、内容を理解できるようにした。 ○単語について、音声教材やPicture dictionaryを活用することで英単語に慣れ親しめるようにした。単元に囚われず、普段から様々な単語に触れられるような授業づくりをした。 ○アファベットかるたで、大文字や小文字を判別できるようにした。その後、毎時間で少しずつアルファベットを書く時間を設け、スモールステップで取り組めるようにした。	○既習の表現を使って、工夫してやり取りをしようとする児童がいる一方、発話をすることに自信がなく支援が必要な児童もいる。 ○発表は自信をもって発表している児童が多い。 ○振り返りの記述から、自分なりの成長を感じられている児童が多くいることが分かる。	○ALTや教員、英語が得意な児童のデモンストレーションをたくさん見せることで、会話の進め方が分かるようにする。 ○自信をもって活動に取り組むことができるようにペアやグループなど、段階を踏んで練習させる。 ○本時のめあてと単元のゴールを明確にすること、さらに毎時間ふりかえりの時間を取ることで、めあての達成度や自分の成長を確かめられるようにする。